

古市ふるさとネット 第144号

古市地区の人口 4月末

男	女	計	世帯	
957	1,253	2,210	959	小学生 107名
-5	-5	-10	-2	幼稚園 24名



篠山市波賀野 682-2 (古市コミュニティ消防センター)

TEL & FAX 079-595-1085

【編集・発行】古市地区まちづくり協議会

ホームページ <http://furuichimachikyoo.com/>

古市地区まちづくり協議会第12期定期総会書面表決で承認される

～新型コロナウイルス感染拡大予防緊急事態宣言による書面表決～

令和二年度定期総会が四月二七日午後七時より開催の予定でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、緊急事態宣言が発令され、イベントや行事、学校の休校等自粛要請される中で、止むを得ず総会も書面での議決をすることに決定致しました。役員・各役員様には議案書、書面表決書を郵送し、精査していただき、書面表決書を返信して頂きました。

四月二七日午後七時より、運営委員で古市地区まちづくり協議会総会の書面表決書の集計を行いました。役員、部委員六十二名、提出数五十七名でした。令和元年度事業報告、収支決算報告並監査報告、規約一部改正、役員改正、令和二年度事業計画、予算の事項が五十七名の賛成・承認をもって可決頂きました。誠にありがとうございました。役員改正に伴い、健康福祉部長として十年間勤められた宮本博章様、生涯学習部長として七年間勤められた藤原康晴様が退任されました。新会長より、十年間労苦を惜しまず高齢者福祉事業に取り組んでこられた業績を称え宮本博章様と藤原康晴様に感謝状が贈呈されました。長い間ありがとうございました。

古市地区まちづくり協議会は、古市地区の活性化と古市地区の地域住民が安全で安心して元気に暮らせるように願って、熱意ある皆様のボランティア精神に支えられ事業が展開されていますが、役員の高齢化も進み、古市地区各自治会長の協力と連携なくして事業展開は難しい状況です。令和二年度は役員、各役員、各自治会長、古市地域住民の総力を結集して、各事業が展開していきますようご協力・ご支援の程何卒よろしくお願い致します。

◇ 令和二年度役員 (敬称略)

- ◎ 会長 山本邦男
- ◎ 副会長 中西肇 福西徳夫
- ◎ 生活安全部長 吉良博之
- ◎ 文化活動部長 進戸 納
- ◎ 健康福祉部長 松本里美
- ◎ コミュニティ部長 酒井扶美
- ◎ 事務局長 宮本芙美子
- ◎ 会計 酒井正美
- ◎ 監事 酒井正博 谷田文之
- ◎ 顧問 園田依子



10年の間、お世話になった宮本博章様に感謝状を贈呈!

会長就任のあいさつ

まちづくり協議会会長 (犬飼自治会長) 山本邦男

風薫る新緑の頃となり、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年末より、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し始め、皆様方の生活環境にも何かと不自由な影響が及んでおり、一日も早く元の生活に戻れることを願い、自粛生活を送られていることと推察いたします。

さて、中西会長の後任として、就任致しましたが、不慣れな所はご容赦いただき、皆様方の生活空間の快適さの向上に微力ながら寄与できるよう努めてまいりますので、ご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

少しばかり自己紹介をしておきます。出身はお隣の三田市です。子供は三人、長男、長女、次女です。今は次女夫妻が近くに住んでいますので、嬉しい日々が送れています。

さて、篠山産業高校機械科を経て、市内の部品製造業の日本ピラー工業に就職し、技術指導員として国内国外を問わず飛び歩いていました。年間の出勤日数の50%以上は出張の日々でした。一番遠い国は南アフリカ共和国のダーバンに、一番長く滞在したのは、北アフリカのアルジェリア人民共和国に6か月×2回。ここは国営企業の天然ガス処理プラントを日本の企業が落札し、ボーリングからパイプラインを施工し、精製プラントの建設と稼働。港湾までのパイプラインによる輸送出荷の内、主に生成プラントの稼働エリアでの現地人への技術指導で、キャンプ住まいでした。当時、キャンプ住まいの日本人は、約300人。この手の話は尽きませんが、何せ30数年前の出来事なので現在とはずいぶん変わっていると思います。役員の皆様と、意思疎通をはかり古市地区の皆様々に安心安全な生活を送っていただけるよう努力してまいります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

えきラボ通信 古市版



こんにちは、今年度の9月から古市を舞台にした学びと創造のプロジェクトを担当いたします吉良佳晃（不来坂）と申します。

どうぞ宜しくお願い致します

新しい仕事、農村の未来を創る人のためのスクール「丹波篠山イノベーターズスクール」

<https://school.sasayamalab.jp>

文芸紹介

若葉句会 五月投稿句から

そら豆の青き匂ひの手のままで
花みずきをちこち動く耕運機
由緒ある街道語る花みずき
空豆を左手と歯で食べる父
十株の蚕豆の待つ畑へと
蚕豆やぼんと弾けて飛び出しぬ
花みずき行くを待たずに逝きし人
ハイカーの帰りの手には露一把
そら豆の姿に習ひ腰伸ばす
花水木明るき声の友来たる

西井 節子
小林 敦子
酒井 實
秋月 祐
秋月 聖子
藤本 とし子
松木 みち女
松木 美智子
森本 静代
酒井 八重子



古市未来創造塾

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、今までの社会の在り方が問い直されています。ウイルスとの付き合いは長期化していくことが予想され、コロナ前に描いていた未来社会とは異なる社会への構想が各地で描き始められております。都市への集中社会からリモートツールを活用しての地域分散型へ、教育・経済・福祉・地域資源をはじめ未来へとつなぐ新たな視点をもった地域づくりが必要になってくるでしょう。

篠山口駅構内にある農村地域の課題解決と発展のため、現場発のイノベーション、地域に根ざした教育と研究、地域の人財育成に取り組む拠点「神戸大学・丹波篠山市イノベーションラボ」では、今年度9月からここ古市を舞台に未来につながる地域コミュニティを創造するプロジェクトをスタートさせます。合わせて、皆様と学ぶ「古市塾」を復活させ、未来への創造につなげる「古市未来創造塾」を開講したいと思います。

- 第1回 9月19日(土) 13:00~14:30 古市のこれから(担当:吉良佳晃)
- 第2回 10月10日(土) 14:00~15:30 古市の歴史①(担当:調整中)
- 第3回 11月14日(土) 13:00~14:30 古市の歴史②(担当:調整中)
- 第4回 12月5日(土) 13:00~14:30 古市の歴史③(担当:調整中)
- 第5回 12月19日(土) 10:00~11:30 丹波篠山イノベーターズスクール生によるアイデア発表
11:30~13:30 スクール生・地域交流会

6月の各部活動予定は新型コロナウイルス感染拡大予防の緊急事態宣言により未定

生活安全部

- ◆幼稚園・JR官舎跡地の草刈り 6月13日(土) 8:00~
6月27日(土) 8:00~

事務局

- ◆運営委員会 6月1日(月)19:00~